

3.被害想定

(1)首都直下地震の被害想定

①被害想定概要

南関東地域における首都直下地震（マグニチュード 7.3 規模）の発生確率は、今後 30 年以内に 70%といわれています。

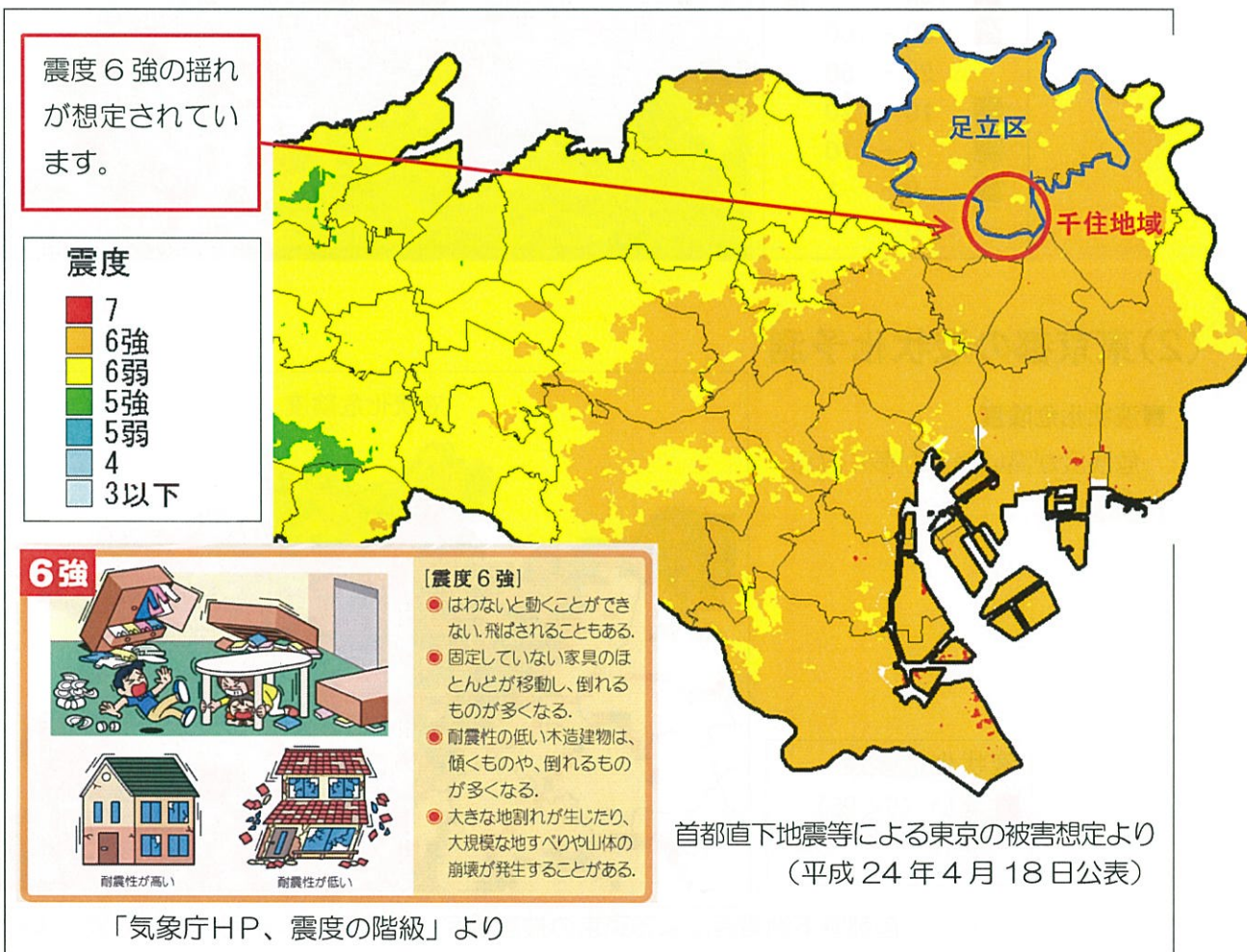
首都直下地震における足立区の被害想定

（東京湾北部地震／M7.3、冬の 18 時、風速 8m/秒）

被害区分	被害の規模	参考
死者	712 人	区の夜間人口の 0.10%
負傷者	9,033 人	// 1.3%
建物全壊	10,082 棟	区的全建物棟数の 7.0%
建物焼失	16,124 棟	// 11.2%
避難者	280,862 人	区の夜間人口の 41.1%
帰宅困難者	107,115 人	区の昼間人口の 19.9%

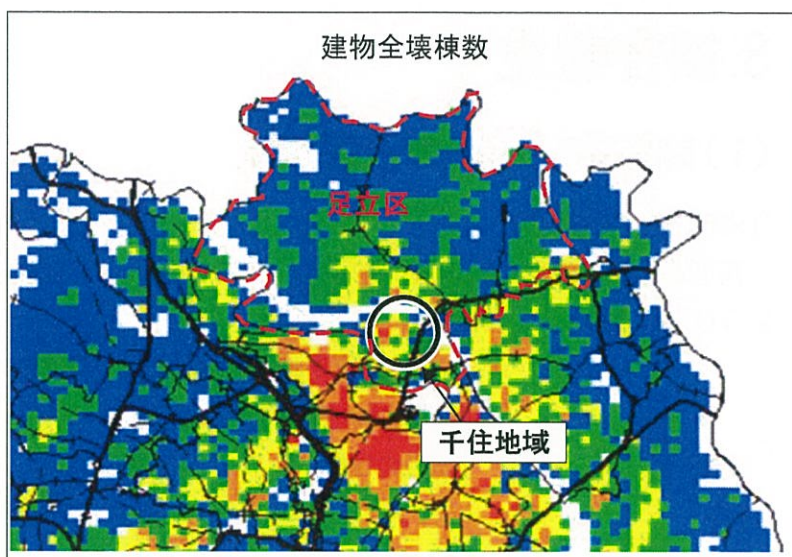
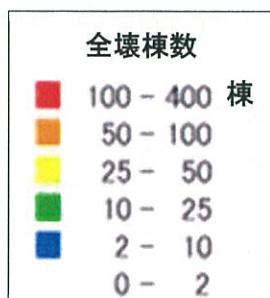
首都直下地震等による東京の被害想定（平成 24 年 4 月 18 日公表）より

東京湾北部地震の地震動分布



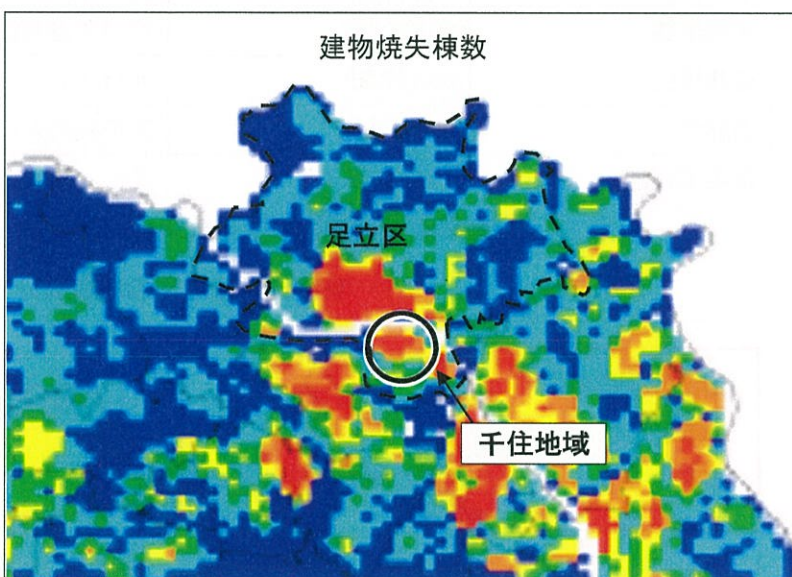
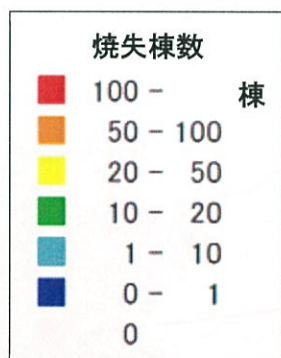
■建物全壊棟数

25-50 棟、50-100 棟などの分布が見られます。最も多い 100-400 棟の分布もあります。



■建物焼失棟数

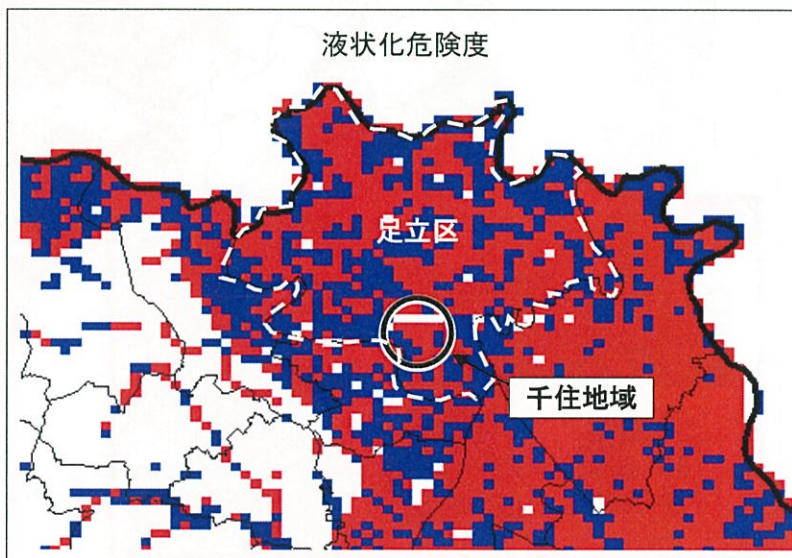
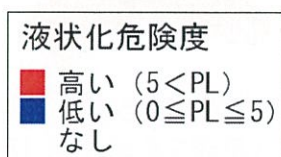
25-50 棟、50-100 棟などの分布が見られます。最も多い 100-400 棟の分布もあります。



(2)東京都の液状化予測

■液状化危険度

危険度が高い表示が多くみられます。



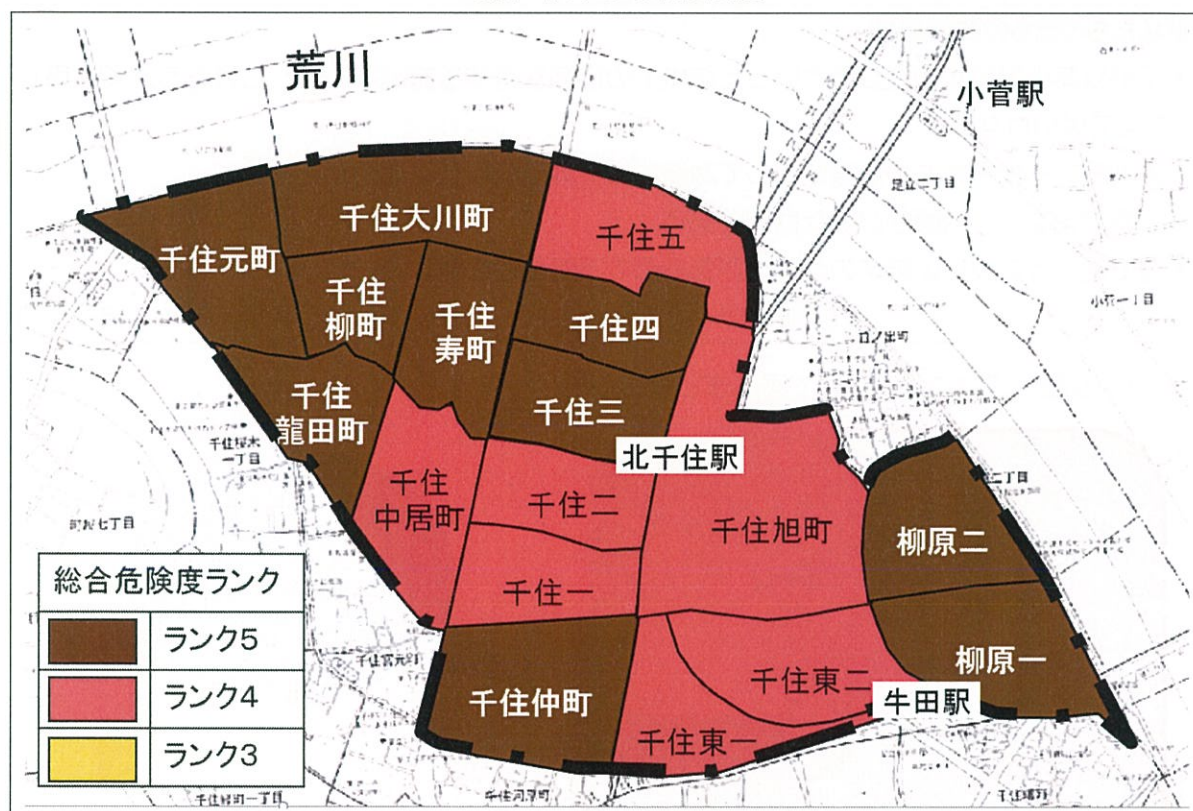
首都直下地震等による東京の被害想定（平成 24 年 4 月 18 日公表）より

(3)地震に関する地域危険度

「東京都地域危険度測定調査」によれば、危険度は最も高い「ランク5」です。

この調査は、都内 5,133 丁目の地域危険度を 5 段階評価したもので、「火災危険度」、「建物倒壊危険度」などに分けて示しています。ここでは、区分をひとつに合わせた「総合危険度」を示しています。

地震に関する地域危険度



「東京都地域危険度測定調査」より

4.防災まち歩き

地震が起きた時のことを想定しながら、まちの中の危険なところや、災害時に役に立つ広場や備蓄倉庫などの資源を探す「防災まち歩き」を実施しました。

(1)まち歩きの準備

まち歩きの前に、これまでの勉強会で話し合った防災課題を整理しました。

■私たちのまちの防災課題

- 千寿双葉小学校や千住公園といった防災上の役割を有する施設がある、これをうまく活用しなくてはならない。
- 大地震でも救出救助や避難路として利用するために守りたい道路がある。
- 公園が少ない、公園が必要な個所がある。
- 建て詰まって火災の延焼の危険性があるので不燃化が必要。

防災まちづくり勉強会スタートアップ会議（平成28年3月）より

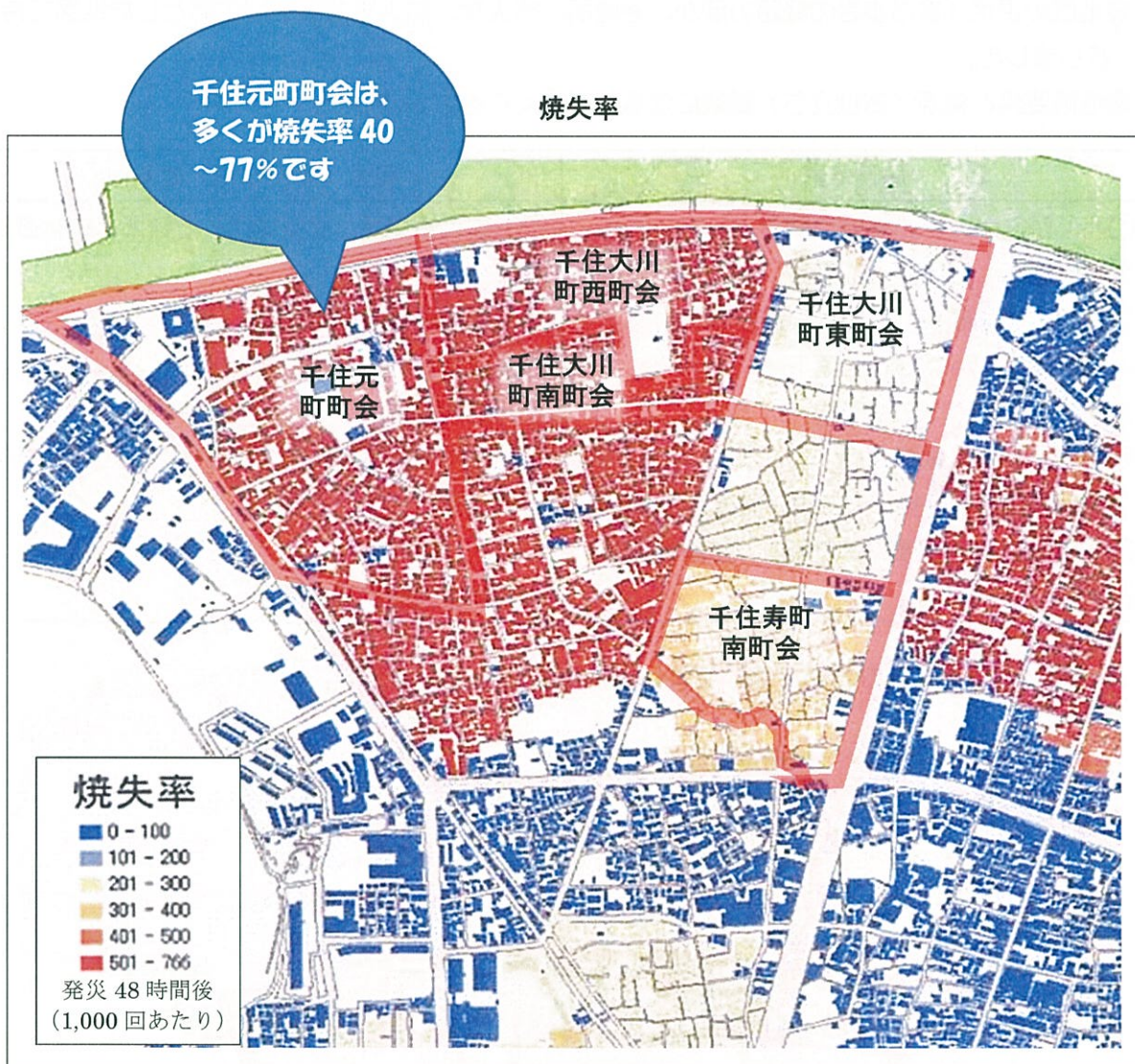
道路や公園、建物などについて図にまとめました。



■延焼シミュレーション

延焼シミュレーションという手法で火災延焼について勉強しました。

これによれば、千住元町町会は、地区の多くが発災 48 時間後の焼失率 40～77%（1,000 回のシミュレーションで 401～766 回焼失）にのぼり、たいへん燃えやすいまちであることがわかります。



第 3 回千住西地区まちづくり勉強会（平成 28 年 9 月）より

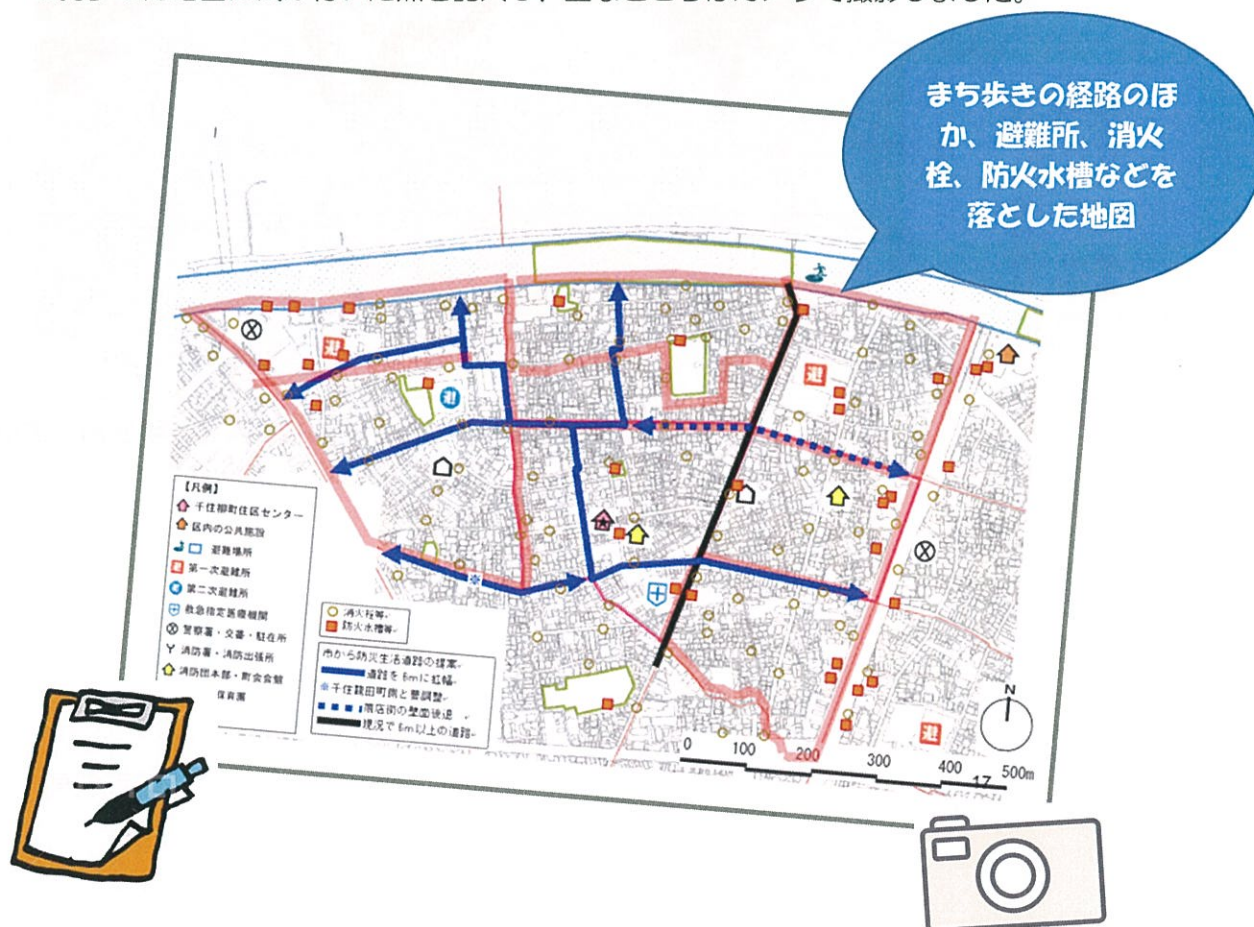
(2)まち歩きの実施

まち歩きを次のように行いました。

- 時間配分に留意しながら、地区の全体をみることができるように「まち歩きルート」を決めました。
- 地区の現状（まち歩き経路のほか、避難所、消火栓、防火水槽など）を落とした地図を持参しました。
- 危険要素と資源（お役立ち）要素に注意して歩くことにしました。

危険要素	資源（お役立ち）要素
①高く傾斜の大きい擁壁や階段	①一時集合場所、避難場所、避難所、福祉避難所
②狭い道路、行き止まり道路	②公園や広場等の空地
③老朽木造住宅やアパート、空き家	③消火栓、防火水槽、井戸、消火器
④高層マンションからの落下物	④消防団の倉庫
⑤倒壊しそうなブロック塀	⑤資機材置き場（担架やリヤカー、拡声器等）
⑥倒れそうな自動販売機	⑥備蓄庫
⑦（化学薬品等を扱う）工場、危険物貯蔵施設	⑦病院、薬局
⑧幹線道路（徒歩帰宅者の集中、自動車渋滞など）	⑧防災行政無線放送塔

- 持参した地図に気が付いた点を記入し、主なところはカメラで撮影しました。



(3)まち歩きの結果

<まち歩きでわかったこと>

- ・一時避難場所が多いが、家が古くて道が袋小路で危険だ。
- ・町会の女性部が独居マップをつくっている。一人暮らしの高齢者などを地図上に色分けで示してある。
- ・町会の避難場所と備蓄倉庫が分散しているので町会でまとまって動けるか不安だ。1か所にまとめられないだろうか。



全体的に道路が狭いところが多く、車は入れない



電柱が傾いている。地震時に倒れないか

課題	対応策	その他
・全体的に道路が狭いところが多く、車は入れない ・道路が袋小路で火災のときに逃げ場がない ・家の2階に植木鉢が並んでいる、道路に面しているので、落ちてくると危ない ・管理されていない空き家があり、ごみが散らかっていて火事が不安 ・電柱が傾いている、地震時に倒れないか ・避難場所と備蓄倉庫が分散しているのが良くない、その中でいかにやっていけるか？	・女子部が独居老人マップを作成し、もっている ・一人で避難できない人を色分けしてマップに落とし込んでおくといい ・女子部ではお手紙を入れたりしている ・備蓄倉庫から避難所に運ぶのがたいへんだが、リヤカーが役立つ	・元宿神社には、災害時のために、消火栓、リヤカーが置いてある ・元宿さくら公園の椅子はかまどベンチになっていて、煮炊きができる ・児童遊園は一時避難場所になっている

(4)マップの作成

まち歩きの結果をマップにまとめました。

○全体的に

- ・全体的に道路が狭いところが多く、車は入れない
- ・道路が袋小路で火災のときに逃げ場がない
- ・管理されていない空き家があり、ごみが散らかっていて火事が不安
- ・町会の避難場所と備蓄倉庫が分散しているので町会でまとまって動けるか不安



千住桜花苑、福祉避難所に指定されている



2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日



2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日

2014年12月31日